

## 松島町における東日本大震災活動報告

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い、避難者支援、健康被害状況確認、ライフライン復旧までの要援護者支援について、保健福祉センターを拠点に活動を行ったので報告します。

### (1) 松島町の被災状況

- ①概況 店舗や住宅への浸水及び全半壊、ブロック塀の倒壊、外壁の崩落、崖崩れ、道路の亀裂等
- ②家屋等被害 全壊 216 戸、大規模半壊 341 戸、半壊 1,141 戸、一部損壊 1,352 戸（調査継続中）
- ③人的被害 死亡者 16 人（町内で 2 人、町外で 14 人）、行方不明 0 人、重軽傷者 37 人
- ④避難者 ピーク時 避難所数 45 箇所、避難者数 3,719 人
- ⑤ライフライン 電気；3月18日全域通電（4月7日及び8日一時停電）  
水道；4月3日全域復旧（4月7日余震により一時供給停止）

### (2) 医療の状況について

※詳細については資料1を参照

- 3月13日（日）松島病院、中山クリニック診療再開
- 3月14日（月）海岸診療所診療再開（1階部分に浸水被害あり）
- 3月14日（月）中山クリニックにおいて夜間より透析再開（常時6tの水位確保のため給水）
- 3月16日（水）日本医療福祉生活共同組合連合会来庁（各避難所にて医療を開始）
- 3月19日（土）兵庫県医療ボランティアチーム
- 3月22日（火）～3月31日（木） 派遣医療チームによる避難所診療

### (3) 保健活動について

※詳細については資料2を参照

- 3月14日（月）～15日（火）にかほ市より保健師2名派遣
- 3月18日（金）～20日（日）松島在住の保健師ボランティアによる避難所での健康相談
- 3月18日（金）～4月6日（水）佐世保市から保健師派遣（厚生労働省を通じて派遣）

### (4) 保健福祉活動について（保健福祉センター分）

※詳細については資料3を参照

3月11日地震発生の夜より、避難所の巡回を開始。（避難者の状況及び健康チェック）  
12日からの避難所の巡回等においては、役場庁舎内の職員と連携し、ライフライン等生活面については事務職が説明等を行い、健康面については保健師が行うなど、役割分担を決めたため効率よく巡回ができた。佐世保市の保健師の家庭訪問についても同様である。

町の保健師等の家庭訪問については、災害台帳等に基づき避難所で確認できなかった心配な方を中心に訪問。地域包括支援センターにおいては、要支援の認定者・ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等訪問。電話復旧後は、保健福祉センターの職員と臨時の看護師等で、高齢者の安否確認と、生活について困っていることが無い確認作業を行った。

宅配夕食サービスを利用している方は日常の買い物も困難な方でもあるため、3月23日より、見守りを含め水・缶詰・パック飯・レトルト食品等を2日に1度の頻度で宅配を実施した。（24人に対して実施）本来の宅配夕食サービスについては、業者が復旧し業務ができるようになった4月11日から開始している。

保健福祉センターは、4月9日最後の2名が介護付高齢者有料老人ホームに移動して、避難所を閉鎖した。

3月15日にボランティアセンターをB&Gに立ち上げるため、健康長寿班より職員1名派遣。介護保険については、3月25日より認定調査を開始している。

派遣日時	派遣医療チーム名	活 動 内 容
3月16日	日本医療福祉生活共同組合連合会	医療生協松島診療所を通じて各避難所にて診察
3月19日	兵庫県医療ボランティアチーム	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月22日	佐賀県立病院医療チーム	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月23日	佐賀県立病院医療チーム	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
	佐賀県こころのケアチーム	個別相談 (家庭訪問 8 件) ・品井沼改善センター
3月24日	大分県立病院医療チーム	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月25日	大分県立病院医療チーム	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
	佐賀県こころのケアチーム	個別相談 (保健福祉センター・家庭訪問) ・品井沼改善センター
3月26日	全日本医療チーム (2 チーム)	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月27日	全日本医療チーム (2 チーム)	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月28日	全日本医療チーム (2 チーム)	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月29日	全日本医療チーム (2 チーム)	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
	宮城県眼科医会	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月30日	全日本医療チーム (2 チーム)	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
3月31日	全日本医療チーム (2 チーム)	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
	宮城県眼科医会	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター・品井沼改善センター)
4月1日	宮城県成人病予防協会	3月28日から看護師3名各避難所にて健康相談
4月4日	佐賀県こころのケアチーム	避難所にて診察 (美遊・手樽地域交流センター)

※医療チームについては、宮城県に災害本部より2チーム要請し、県を通じ医療活動を行っている。

※日本医療福祉生活共同組合連合会については、病院独自の協力による。

※歯科医師会においても、独自に避難所において歯科指導・義歯の清掃等を行っている。



## ○にかほ市

派遣日時	派遣保健師数	活動内容	避難者 個別相談
3月14日	2名	避難所健康相談（大観荘、大松荘、新富、陽徳院）	56
3月15日	2名	避難所健康相談（大松荘、新富、陽徳院）	24
計	2日間 延べ4名		80

※3月13日にかほ市へ保健師2名派遣要請

## ○松島町在住保健師

派遣日時	協力保健師数	活動内容	避難者 個別相談
3月18日	1名	避難所健康相談 （手樽地域交流センター・名込支館・ひだまりの家）	19
3月19日	1名	避難所健康相談 （名込支館・ひだまりの家）	12
3月20日	1名	避難所健康相談 （手樽地域交流センター・名込支館・ひだまりの家）	16
計	3日間 延べ3人		47

※松島町在住の保健師よりボランティアの申し出あり協力いただく

## ○佐世保市

派遣日時	派遣保健師数	活動内容	訪問件数	訪問延べ人数
3月18日	↑	避難所健康相談（美遊・手樽）		
3月19日		東松島市からの避難所準備及び受入れ （品井沼改善センター）		
3月20日	①（2名）	避難所健康相談（品井沼）、地域訪問（上初原住宅）	52	110
3月21日		避難所健康相談（美遊・手樽）、地域訪問（水溜住宅）	73	190
3月22日		避難所健康相談（品井沼）、地域訪問（くぬぎ台団地）	68	239
3月23日	✕	避難所健康相談（美遊・手樽）		
3月24日		避難所健康相談（美遊）、地域訪問（小石浜）	90	163
3月25日	②（2名）	地域訪問（セザールマンション、元手樽）	170	478
3月26日		避難者健康ファイル作成（美遊・手樽）		
3月27日		避難所健康相談（美遊・手樽） 地域訪問（セザール不在者25日分）		
3月28日	✕	地域訪問（霞ヶ浦、犬田地区）	56	106
3月29日		地域訪問（犬田、田町地区）	73	143
3月30日	③（2名）	地域訪問（普賢堂地区）	74	141
3月31日		個別訪問（避難者帰宅支援） 避難所眼科医師診療補助（美遊・手樽）	2	2
4月1日		地域訪問（普賢堂、香徳ヶ浦地区）	44	96
4月2日	✕	避難所健康相談（美遊・手樽）		
4月3日		地域訪問（垣ノ内、蛇ヶ崎右地区）	117	208
4月4日	④（2名）	地域訪問（道珍浜、蟹松団地地区）	83	194
4月5日		地域訪問（早川、古浦地区）	65	177
4月6日	↓	地域訪問（名込地区）	42	108
計	20日間 延べ40人		1,009	2,355

※災害対策本部より、宮城県に保健師2名派遣要請→宮城県→厚生労働省→佐世保市より派遣される

## 東日本大震災における保健福祉活動報告(保健福祉センター職員分)

資料3

月日	避難所巡回 (個所数)	家庭訪問 (延人数)	電話確認 (延人数)	どんぐり避難者 個別対応・相談 (延人数)	どんぐり避難者 食事提供数 (延食数)	その他
3月11日	17			3	74	地震発生(避難者176名)
3月12日	34	2		102	239	
3月13日	14	1		52	267	
3月14日	24			84	247	
3月15日	18	5		65	195	
3月16日	22	14		22	133	
3月17日	11	47	4	23	108	電気復旧
3月18日	7	55		19	70	
3月19日	7	1		11	54	品井沼避難者受入準備
3月20日	2	75	192	7	38	高齢者・障害者・母子等電話での 安否確認開始
3月21日	2	40	100	8	34	
3月22日	4	67	172	11	34	美遊に炊き出し(140食)
3月23日	2	39	21	4	36	壮観入浴者健康チェック(31日まで)
3月24日	4	59	28	10	29	23日より見守り宅配(24名)
3月25日	4	42	8	15	33	介護認定調査開始
3月26日		10	5	7	34	
3月27日	1	1		4	34	
3月28日	5	15	8	9	34	
3月29日	3	9	2	18	33	
3月30日	4	20	2	16	29	
3月31日	3		2	9	22	
4月1日	2	1		10	14	
4月2日	4		2	4	15	
4月3日			3	1	13	
4月4日	3	3		4	12	
4月5日	5	3	7	4	12	
4月6日		8	2	8	12	
4月7日		5	1	5	8	余震(センター進入路崖崩れ)
4月8日	2		5	5	6	
4月9日				4	2	どんぐり避難者全員退所
4月10日				2		
4月11日	3	2				宅配夕食サービス開始
4月12日			3			
4月13日	1		6			
4月14日	3	6				
4月15日	2		72			
計	213	530	645	546	1871	

※従事者数;保健師(6)、看護師(3)、栄養士(2)、社会福祉士等(2)、歯科衛生士(1)

※災害時の夜より避難所に、どのような方が避難しているかを確認しながら健康チェックを行った。家庭訪問については、災害台帳等に基づき避難所でも確認できなかった心配な方を中心に訪問。避難所が集約されてからは、避難所で健康上心配だった方や、精神の方等の訪問。地域包括支援センターにおいては、要支援の認定者・ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等訪問している。宅配サービス利用者については、見守り宅配として水・缶詰・パック飯等を一日置きに配達(社協対応)した。